

本郷だより

第 215 号

平成 29 年 10 月 31 日 発行

文京区立本郷小学校

<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/hongou-ps/>

現代の蜘蛛の糸

主幹教諭 岡田 実

毎月、地域支援スタッフの方々を読み聞かせをして下さっています。今月の読み聞かせで、芥川龍之介の「蜘蛛の糸」の絵本を読んでもらいました。

罪人として地獄に落ちた男の様子を天界から見ていたお釈迦様は、男に向けて蜘蛛の糸を垂らします。男は、蜘蛛の糸につかまって、地獄から脱出しようと登り始めます。最初は地上に向かって黙々と登っていましたが、ふと下を見ると、他の大勢の人たちも蜘蛛の糸を登ってきていることに気がきます。男は、他の人たちを蹴落として、自分だけが助かろうとします。と、その瞬間、糸はプツンと切れ、男は地獄に逆戻りしてしまうという話です。

この話から考えさせられることに、人間の自己中心的な欲があります。「自分はそうしたい。」「自分だけがよければよい。」という考えは、人間の誰しもの心のどこかにあるのかもしれませんが、他の人が嫌な気持ちになったり、本意ではなく我慢したりするというアンフェアな状態にもなります。相手にとっては大丈夫か、相手の立場に立って想像したり、折り合いを考えたりすることが大切になります。

“蜘蛛の糸”を学校生活に置き換えて考えると、他者が発言しているのにおしゃべりをやめなかったり、後の人のことを考えずに食べたいだけおかわりをしたりするような、自己中心的な行動が蔓延っては、集団での学校生活は成り立ちません。運動会や、先日、6年生が出場した連合陸上記録会でも、自分とは直接関係ない人の出番だからといって、関係ないおしゃべりをしているというのは、成り立たないとまではいなくても、自己中心的な行動によって、相手が寂しい、残念な思いをするということもあります。

本校では、Jアラート（全国瞬時警報システム）という、国から発令された警報を瞬時に通達するシステムを想定した避難訓練を行うことにしました。本来、地震や津波などの災害時に備えたシステムでしたが、他国からのミサイル発射時に発令されることを踏まえ、子供たちには、万が一に備える避難方法を伝えていきます。この国際社会の不安定な状況からも、他者への思いについて考えさせられます。

ミサイル発射による Jアラート対応の訓練をするような世知辛い世の中になってきている昨今だからこそ、自己を中心とした関わり方ではなく、もっと双方向ともに相手の立場に立って、相手のことを一考できる心のゆとりや相手を思いやる気持ちをもって過ごしていきたいものです。そうすれば、国際社会の平和維持や、もちろん学校もみんなが笑顔で過ごすことができる場になっていきます。

とは言っても、我々大人も、そして子供も、日々、「何かから抜け出したい。」と、様々な見えない蜘蛛の糸をたどっているのかもしれませんが、どうしてもどこかに潜む「自分だけ」という思いが糸を断ち切っているのかもしれませんが。人間というのは、何度も間違いを繰り返してしまうもので、登っては切れ、切れてはまた登りを繰り返しているものです。けれども、「自己中心的だったのでは。」と自ら反省し、より良く改めようと努めるところに、ささやかでも、より良い人間関係を築くことや自分自身の成長への糸をたどっていくことにつながっていくのかもしれませんが。

自己中心でなく相手を思いやることができる子は良い子です。そんな良い子がたくさんいるクラスは良いクラスです。良いクラスがたくさんある学年・学校は良い学校です。そんな、さりげなく他者に目を向けて、温かく関わることのできる学校にしていきたいです。

11月 行事予定 ふれあい月間 生活目標 みんなのためにできることをしよう

	曜日	時程	朝会	学校行事	日	曜日	時程	朝会	学校行事
1	水		読	午前授業 3年1組5時間授業	16	木	特		音楽会前日準備
2	木		外	ブラインドサッカー体験(4年)	17	金			音楽会児童鑑賞日
3	金			文化の日	18	土	特		音楽会保護者鑑賞日
4	土			東京都教育の日	19	日			
5	日				20	月			振替休業日
6	月		全	委員会活動	21	火		全	
7	火	特		生活科見学(1年)	22	水		集	勤労感謝集会・交流給食
8	水		縦	午前授業 2年1組5時間授業	23	木			勤労感謝の日
9	木		音		24	金		集	和食の日
10	金	特			25	土			
11	土				26	日			
12	日				27	月	特		後期個人面談① 5時間授業 マラソン・読書旬間(～12/8)
13	月		全	クラブ活動	28	火	特		後期個人面談② 5時間授業
14	火		外	避難訓練	29	水			後期個人面談③
15	水		集		30	木	特		後期個人面談④ 5時間授業 区連合音楽会(5年)

水…水曜時程 特…特別時程 式…儀式的行事 全…全校朝会 集…児童集会 音…音楽朝会 安…安全指導日 縦…縦割り遊び 外…外遊び 読…読み聞かせ

音楽会に向けて

文化的行事委員会

11月18日に、3年に一度の音楽会が行われます。普段の音楽の授業で学習してきた知識や技能を生かしながら練習をしているところです。音楽会で発表するにあたり、子供たちからは「一生懸命演奏する。」「きれいな声で歌う。」「たくさん練習する。」「気持ちを込めて歌う。」など、様々な思いが聞かれました。そして、「自分たちが楽しいと思うばかりではなく、聴く人の心に伝わるような演奏、そして、来てよかったと思ってもらえるような演奏にしよう。」との共通理解をもちました。そんな中から生まれた今回のスローガンは「ひびかせよう 届けよう 私たちのハーモニー」です。

また、「音楽が得意な子もいれば、苦手な子もいる。苦手な子でも一生懸命伝えようとする演奏には心を打たれるし、音楽の得手不得手と、その演奏に心を動かされるかどうかは別だ。」などと伝えていきます。そのような取組の過程や子供たちの「音のメッセージ」を、演奏を通じて感じていただけたら幸いです。御来校を心からお待ちしています。ぜひ温かい励ましをよろしくお願いいたします。



体力向上の取組について

体育的行事委員会

近年、子供の体力は緩やかに向上しつつも、体力水準が高かった1985年頃と比較すると、依然として低い水準にとどまっているようです。9月頃に配布したスポーツテストの結果を見て、お子さんと運動について話をされた御家庭も多かったと思います。

本郷小学校では、子供たちの体力向上に向けて、体育の学習に体づくり運動を取り入れることや、一校一取組として、全学年週1回中休みに体育館・屋上を利用して体力向上を目指しています。今年度は地域のボランティアの方々に見守られながら、週2回校庭で朝遊びができるようにしました。

体力を向上させることは、単に運動能力を高めるだけでなく、疲れにくい体やけがをしにくい体、病気になりにくい体をつくるためにも重要なことです。また、外遊びや運動・スポーツを通し、体を動かすことで、心の疲れや緊張を解消したり、軽くしたりすることもできます。さらに、脳が刺激され、その働きが活発になり、学習にも好影響を与えてくれます。

体力を向上させるためにも、日常生活における運動遊び等を充実させていくことが大切です。これからも、外遊びを促したり、運動の機会を増やしたりして、体力の向上を目指していきます。

本郷祭り 児童の感想

1年

- ・ どんぐりパチンコでコースを作ったときに、行き止まりとか100点とか、いろいろなコースを考えました。
- ・ 6年生のもぐらたたきが、素早くておもしろかったです。お店屋さんの時にも、頑張って大きな声を出しました。
- ・ 6年生が優しく、笑わせてくれたので、すごくいい人だと思いました。ありがとうございました。
- ・ どんぐりゴマ屋さんで、コマの爪楊枝のところに色を塗ることを頑張りました。お店番では、お客さんに回しやすいコマを勧めました。
- ・ どんぐりくじ屋さんで、看板の係で1階から4階まで回ったことを頑張りました。
- ・ 宝物探しとかいろんなお店があって楽しかったです。来年もやりたいです。